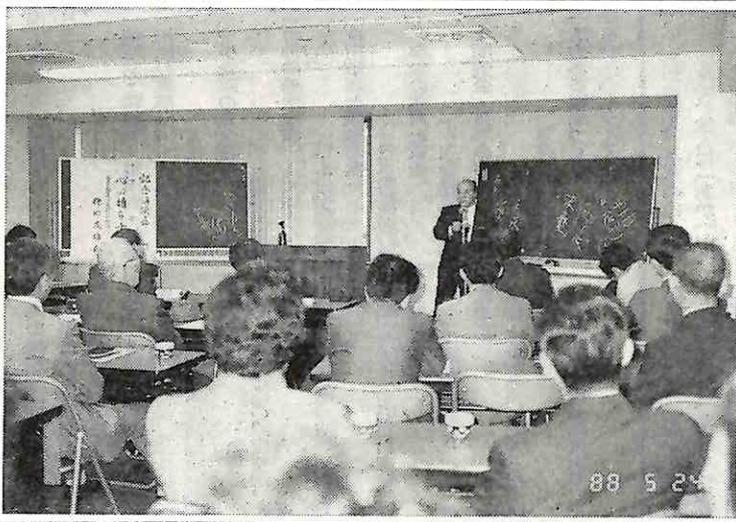


(前頁より)
 いるのでしょうか、実は鬼が呑んでるのです。道元はうまいことを言っていると思いませんか。
 道元は延寿堂やせ細った明全の姿を見、手をりあつて、私があなただけ分まで、日本に教えを伝えますと、泣いたと思ひます。明全が死んだあと、二人分の修業に大奮ったと思ひます。のちに道元は、たとい病氣になつて死んでもよい、尚これを修



ています。昔の人ほどそういう思想を持っていたのですね。
 或いは時間を惜しむということも道元は徹底しています。これら二つのことをみますと、道元も、何が修業なのか、修業とは座禅したり本を読んで勉強することとはばかり話を最初の気術の問題に戻して法とをあわせてやれば、それを毎日修練しておれば、だんだん気を集めることができるようになります。この修業の修練を武蔵は徹底して磨き抜いたと思つてです。
 だからこそ、武蔵は「見の目と観の目」とがあるが、この観の目を磨けと言っているのです。
 この観の目とは何かと言いますと、気を発すること、それが相手に反射して戻ってきます、それを観と言つて、ですから、完全な目を閉じていてもよいわけですが、剣の先を見て見、相手の剣の動きによつて、こちらが対応しては斬られてしまいます。こちらが目をつぶつていても相手の気がそれを感じとらなければいけないと言っているのです。
 合気道の創始者植芝先生は剣道八段の海軍の人と木刀で戦つたのですが、どうしても勝てない、撃たれどつになつたのでやめて、それから山の中で気を如何に感ずるかの修練をやり、その修練の結果五年後に相手の心が見えるようになったのです。
 そこで八段の海軍の人に試合を合を申込んだのです。しかも真剣試合です。植芝先生は稽古着に袴だけの姿で自然体で立つてうなごをやってたのか、それは私にはわかりませんが、とにかく、意識を極端に集中し、それと呼吸

観の目

思つていたのはとんでもない誤りで、また、いたすに時を過ぎず修業しなければいけないと言つています。人は練磨によつて本当の人の心が見えたと仰るのです。相手の殺気の光が自分に飛んてくるのが見えたと仰るのです。その光をかわせば、そのあとで剣がとんでくる、このとき始めて心が見えたと仰つたのです。
 ですから、心は見えないといふのは大間違いで、見ざるのです。宇宙の気を吸ひとる訓練から始められたと云つて、それが植芝先生に合気道を開眼させたのです。ですから、こういう人もいるわけ、恐らく宮本武蔵もそれを体得してはいたのではないと思ひます。心は見えないといふのは嘘です。心を見抜く修練をしなければ

短期技能講習会

ワープロ初級 ①

主 催 東京都立大田高等職業技術専門学校
 校 東京都立大田高等職業技術専門学校
 実施期間 昭和六十三年九月二十七日(火)・九月二十八日(水)の二日間
 午前九時～午後四時十五分
 実施場所 東京都立大田高等職業技術専門学校(大田区本羽田三丁目三〇、電話七四四局〇二二九)
 内容 ワードプロセッサの概要。基本操作。文書作成の実務。
 定員・受講料 三十名、二千元。
 申込受付期間 昭和六十三年九月一日(金)～九月十四日(水)、午前九時～午後七時、但し土曜日は正午まで。(先着順で定員になり次第締切られますので、早目にお申込み下さい。)
 申込方法 受講願書(当組合にもあります)に必要事項を記入のうえ、受講料を添えて右記大田高等職業技術専門学校へ直接お申込み下さい。電話・郵送による申込みは不可。

ワープロ初級 ②

主 催 東京都立大田高等職業技術専門学校
 校 東京都立大田高等職業技術専門学校
 実施期間 昭和六十三年九月二十一日(金)・九月二十二日(土)、午前九時～午後七時、但し土曜日は正午まで。(先着順で定員になり次第締切られますので、早目にお申込み下さい。)
 申込方法 受講願書(当組合にもあります)に必要事項を記入のうえ、受講料を添えて右記大田高等職業技術専門学校へ直接お申込み下さい。電話・郵送による申込みは不可。
 お問い合わせ 右記大田高等職業技術専門学校(電話七四四局〇二二九)

短期技能講習会

立体図面の描き方

主 催 東京都立大田高等職業技術専門学校
 校 東京都立大田高等職業技術専門学校
 実施期間 昭和六十三年十月五日～十月十六日の間の水・金曜日、午後六時十五分～八時三十分。
 実施場所 東京都立大田高等職業技術専門学校(電話七四四局〇二二九)

「不透明時代の経営戦略と人づくり①」
 中小企業はいま、激動時代の代を迎えている。生き残るための経営戦略とそれに対応する人づくりを考える。
 八月十四日(日) 経営戦略と人づくり②
 八月二十一日(日) 「不透明時代の経営戦略と人づくり③」
 八月二十八日(日) 「不透明時代の経営戦略と人づくり④」
 九月四日(日) 「経営トピックス」
 中小企業に関連した産業・流通の話題を第一線の記者や専門家のリードによって追跡取材。
 九月十一日(日) 「双眼鏡製造業」
 双眼鏡製造業は高対策に頭を悩ませているが、新製品開発と高級化を武器に内需開拓を目指し、商品の差別化のために各種測定機の開発に力を注いでいる。
 九月十八日(日) 「店舗複合化」
 九月二十五日(日) 「モーターは企業の知恵袋」



経営ワイクリー
 東京都中小企業団体中央会企画
 ・東京都労働経済局提供の毎週日曜日午前七時からテレビ東京(十二チャンネル)から放映されている「経営ワイクリー」の八月、九月の予定番組は左のとおり。ご視聴下さい。
 八月七日(日)

自動車ローンは組合へ

業しなければならぬと言つてい普通、私たちの考え方は、病氣になつて死んだら、元もすもなくなくなつてしまふのではないかと、この常識ですが、道元は病氣になつて死んでも本望はないかと言つて居るのです。武蔵もまた「道元にあたりては死をいとわず」と言つ

その剣道八段の人は気が尽きたのか、道場に倒れてしまったので、また、いたすに時を過ぎず修業しなければいけないと言つています。人は練磨によつて本当の人の心が見えたと仰るのです。相手の殺気の光が自分に飛んてくるのが見えたと仰るのです。その光をかわせば、そのあとで剣がとんでくる、このとき始めて心が見えたと仰つたのです。

「不透明時代の経営戦略と人づくり①」
 中小企業はいま、激動時代の代を迎えている。生き残るための経営戦略とそれに対応する人づくりを考える。
 八月十四日(日) 経営戦略と人づくり②
 八月二十一日(日) 「不透明時代の経営戦略と人づくり③」
 八月二十八日(日) 「不透明時代の経営戦略と人づくり④」
 九月四日(日) 「経営トピックス」
 中小企業に関連した産業・流通の話題を第一線の記者や専門家のリードによって追跡取材。
 九月十一日(日) 「双眼鏡製造業」
 双眼鏡製造業は高対策に頭を悩ませているが、新製品開発と高級化を武器に内需開拓を目指し、商品の差別化のために各種測定機の開発に力を注いでいる。
 九月十八日(日) 「店舗複合化」
 九月二十五日(日) 「モーターは企業の知恵袋」

「不透明時代の経営戦略と人づくり①」
 中小企業はいま、激動時代の代を迎えている。生き残るための経営戦略とそれに対応する人づくりを考える。
 八月十四日(日) 経営戦略と人づくり②
 八月二十一日(日) 「不透明時代の経営戦略と人づくり③」
 八月二十八日(日) 「不透明時代の経営戦略と人づくり④」
 九月四日(日) 「経営トピックス」
 中小企業に関連した産業・流通の話題を第一線の記者や専門家のリードによって追跡取材。
 九月十一日(日) 「双眼鏡製造業」
 双眼鏡製造業は高対策に頭を悩ませているが、新製品開発と高級化を武器に内需開拓を目指し、商品の差別化のために各種測定機の開発に力を注いでいる。
 九月十八日(日) 「店舗複合化」
 九月二十五日(日) 「モーターは企業の知恵袋」

「不透明時代の経営戦略と人づくり①」
 中小企業はいま、激動時代の代を迎えている。生き残るための経営戦略とそれに対応する人づくりを考える。
 八月十四日(日) 経営戦略と人づくり②
 八月二十一日(日) 「不透明時代の経営戦略と人づくり③」
 八月二十八日(日) 「不透明時代の経営戦略と人づくり④」
 九月四日(日) 「経営トピックス」
 中小企業に関連した産業・流通の話題を第一線の記者や専門家のリードによって追跡取材。
 九月十一日(日) 「双眼鏡製造業」
 双眼鏡製造業は高対策に頭を悩ませているが、新製品開発と高級化を武器に内需開拓を目指し、商品の差別化のために各種測定機の開発に力を注いでいる。
 九月十八日(日) 「店舗複合化」
 九月二十五日(日) 「モーターは企業の知恵袋」

「不透明時代の経営戦略と人づくり①」
 中小企業はいま、激動時代の代を迎えている。生き残るための経営戦略とそれに対応する人づくりを考える。
 八月十四日(日) 経営戦略と人づくり②
 八月二十一日(日) 「不透明時代の経営戦略と人づくり③」
 八月二十八日(日) 「不透明時代の経営戦略と人づくり④」
 九月四日(日) 「経営トピックス」
 中小企業に関連した産業・流通の話題を第一線の記者や専門家のリードによって追跡取材。
 九月十一日(日) 「双眼鏡製造業」
 双眼鏡製造業は高対策に頭を悩ませているが、新製品開発と高級化を武器に内需開拓を目指し、商品の差別化のために各種測定機の開発に力を注いでいる。
 九月十八日(日) 「店舗複合化」
 九月二十五日(日) 「モーターは企業の知恵袋」



左記の図書が新しく入りましてのぞお知らせします。

「地域別・職種別・規模別・年齢別給与実態」(六十二年版)

「中小企業の賃金事情」(六十二年)

「労働関係法規集」(昭和六十三年版)

「技術革新と職場衛生」

「学卒者の雇用と賃金」

「年間賃金・賞与の実態」(昭和六十三年版)

「活労ある職場づくり」(週休二日制へのトライアル)

「労働行政研究所編」

「大森職業協会編」

「日本労働協会編」

「労働行政研究所編」

「VHS」 日本労働協会編 「中小企業における高齢者活用と就業条件調査」

「求人申込みのしおり」(昭和六十四年三月新規学卒者採用申込みの手続き)

「管内の機械金属製造業における労働条件等実態調査」

「外注(下請)取引基本契約書の見方・作り方」

「労政時報」

「労働行政研究所編」

「大森職業協会編」

「日本労働協会編」

「労働行政研究所編」

「大森職業協会編」

「日本労働協会編」

「労働行政研究所編」

六十三年度決定初任給調査結果 カマノ十薬所(大田区京浜島二一三)代表者小島礼一氏は、六十三年度内出張旅費(宿泊・日帰り)の最新実態。

代表者 変更 株式会社松原 佐々木みき氏 佐々木栄太郎氏

代表者 移転 有限会社近藤精密製作所(代表者近藤隆男氏)

ここに謹んでお知らせ申上げます。二二二に謹んでお知らせ申上げます。

代表者 移転 有限会社近藤精密製作所(代表者近藤隆男氏)

「業務報告」 四月一日 機関紙「工業蒲田」速報版発行

「昭和三十三年度中小企業設備近代化資金融資説明会」

「昭和三十三年度中小企業設備近代化資金融資説明会」

「昭和三十三年度中小企業設備近代化資金融資説明会」

「昭和三十三年度中小企業設備近代化資金融資説明会」

「昭和三十三年度中小企業設備近代化資金融資説明会」

「昭和三十三年度中小企業設備近代化資金融資説明会」

「昭和三十三年度中小企業設備近代化資金融資説明会」

「昭和三十三年度中小企業設備近代化資金融資説明会」

「昭和三十三年度中小企業設備近代化資金融資説明会」

「市川宗祐(中室鋼)」 原案より全員異議なく可決。

「西ヶ谷勝美(東洋電機)」 原案より全員異議なく可決。

「工藤勝彦(内田製作)」 原案より全員異議なく可決。

「小林章彦(日章機械)」 原案より全員異議なく可決。

「長井俊樹(住原工業)」 原案より全員異議なく可決。

「西野三郎(西野機械)」 原案より全員異議なく可決。

「福島勝(第一シャワーリン)」 原案より全員異議なく可決。

「増田道造(岡田鉄金)」 原案より全員異議なく可決。

「海老名正教(エヒナ電機)」 原案より全員異議なく可決。

「島津保男(島津製作)」 原案より全員異議なく可決。

「青野部 聡敬(五十音順)」 原案より全員異議なく可決。

「増田道造(岡田鉄金)」 原案より全員異議なく可決。

「信藤秀夫(シンドー工業)」 原案より全員異議なく可決。

「長井俊樹(住原工業)」 原案より全員異議なく可決。

「今井博(大和部品)」 原案より全員異議なく可決。

「大田輝文(精発ばね)」 原案より全員異議なく可決。

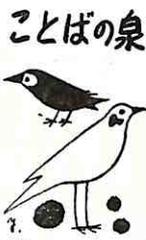
「武市孝雄(日精)」 原案より全員異議なく可決。

「西野秀樹(西野機械)」 原案より全員異議なく可決。

「研究会(木鶏会)」 原案より全員異議なく可決。

「榎原前司(人間へのサポート)」 原案より全員異議なく可決。

「昭和三十三年度借入最高限度額について」 原案より全員異議なく可決。



「ことばの泉」 あかの他人、余衆の他人という意味で、他人に「あか」がついていいます。

「あかの他人」 あかという意味を強調するのにな「あか」をつける。これは妙なことですが、これにはわけがある。

「あかの他人」 「あか」というのは「秋」の音に由来する。

「あかの他人」 「あか」というのは「あか」という意味。

(前頁より) 速報版発行 主な記事

貸付金体系セミナー。企業内教育用ビデオテープ無料貸出。短期技能講習会「品質管理」。短期技能講習会「クラインター作業の安全」。短期技能講習会「図面の見方(機械)」。

自動車ローンは組合で。五月十七日 青年部経営サロン(木鶏会)

五月十一日の定例経営サロンの長期経営計画(人手不足と設備投資)について。ナンバー2の育成と社内の把握について。

五月二十四日 第三十九回通常総会

1、昭和六十二年度事業報告承認の件 報告書および全員異議なく可決決定。

2、昭和六十二年決算報告承認の件 報告書および全員異議なく可決決定。

3、昭和六十二年度剰余金処分案承認の件 原案をおり全員異議なく可決決定。

4、昭和六十二年度事業計画案承認の件 原案をおり全員異議なく可決決定。

5、昭和六十二年度収支予算案(賦課金額及びその徴収方法を含む)承認の件 原案をおり全員異議なく可決決定。

6、昭和六十二年度借入最高限度額決定の件 昨年度をおり四億円とする。とに全員異議なく可決決定。

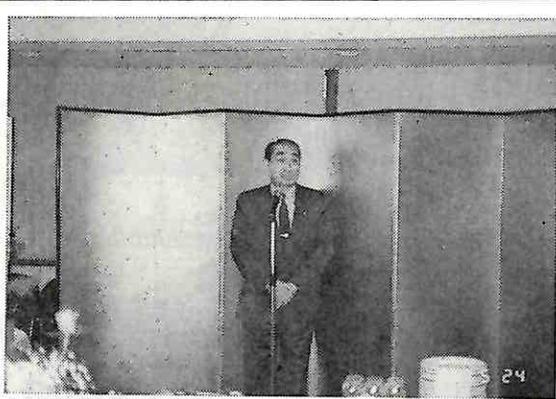
7、昭和六十二年度一組合員に対する貸付最高限度額決定の件 昨年度をおり商手割引貸付限度額を一億五千万円、その他の貸付限度額を三千万円とする。とに全員異議なく可決決定。

8、昭和六十二年度手数料最高限度決定の件 昨年度をおり金融事業年一四六%、共同購入事業二〇%とする。とに全員異議なく可決決定。

9、任期満了に伴う役員改選の件 選挙委員五名による選挙委員会、左のとおり理事十九名、監事二名を選挙し、これを総会に諮ったところ、全員異議なく可決決定。

理事(略敬称、五十音順) 赤井弘志(赤井製作)、尼寺春一(尼寺空庄)、石森憲蔵(東電舎)、市川宗紘(日本中空鋼)、岡田清(岡田飯釜)、川瀬純一(清川製作)、工藤勝広(内田製作)、杉谷順弘(杉谷金属)、千葉博(大産工業)、戸上皓司(事務局)、富田耕平(日伸製作)、島海保男(島海製作)、長坂基秀(長坂精機)、西ヶ谷勝美(東高精密)、西野三郎(西野精機)、野口広(羽田パイプ)、早崎亨一(早崎製作)、古川一安(古川機械)、増田道造(岡田飯釜)、監事(略敬称、五十音順) 海老名正教(エヒナ電化)、豊岡厚(気球製作)。

五月二十四日 理事の件 1、役職理事五選の件 互選の結果左のとおり全員異議なく決定。(略敬称) 理事長 千葉博、副理事長 石森憲蔵、常任理事・会計理事 岡田清、常任理事 赤井弘志、市川宗紘、杉谷順弘、西ヶ谷勝美、専務理事 戸上皓司。



組合総会にて

木鶏会総会と講演会にて

野口広(羽田パイプ)、早崎亨一(早崎製作)、古川一安(古川機械)、増田道造(岡田飯釜)、監事(略敬称、五十音順) 海老名正教(エヒナ電化)、豊岡厚(気球製作)。

5月二十四日 理事の件 1、役職理事五選の件 互選の結果左のとおり全員異議なく決定。(略敬称) 理事長 千葉博、副理事長 石森憲蔵、常任理事・会計理事 岡田清、常任理事 赤井弘志、市川宗紘、杉谷順弘、西ヶ谷勝美、専務理事 戸上皓司。

2、内田前常任理事退任について 六月九日 景況調査 六月十日 景況調査 六月二十日 常任理事会 六月二十日 常任理事会 1、限度額三億円の保証書の差換えについて 2、内田前常任理事退任について 3、職員夏季手当について 六月二十一日 青年部経営サロン(木鶏会)

所教授 鎌田 茂雄 氏 主な話題 台湾視察報告。韓国と台湾の技術レベルについて。銅・塩害について。傷害・病気で後遺症のあるもの待遇について。労災事故について。一人当りの売上高について。六月二十三日 朝食会(木鶏会) 主な話題 事業引継ぎについて。政治・選挙について。インテリ社長について。社長の仕事について。六月二十四日 機関紙工業蒲田速報版発行 主な記事 セミナー「外国人労働問題を考える。夏季経営セミナー。大田区産業展への出品受付。大田区勤労者共済会へ加入のおすすめ。歌舞伎「神楽天口渡」の入場券贈呈。自動車ローンは組合で。

6月一日 定例経営サロン(木鶏会) 主な話題 最低賃金制度について 安全衛生規則について 定年者の貸金について 韓国企業への外注について 六月九日 景況調査 六月十日 景況調査 六月二十日 常任理事会 六月二十日 常任理事会

1、限度額三億円の保証書の差換えについて 2、内田前常任理事退任について 3、職員夏季手当について 六月二十一日 青年部経営サロン(木鶏会)

1、役職理事五選の件 互選の結果左のとおり全員異議なく決定。(略敬称) 理事長 千葉博、副理事長 石森憲蔵、常任理事・会計理事 岡田清、常任理事 赤井弘志、市川宗紘、杉谷順弘、西ヶ谷勝美、専務理事 戸上皓司。

暑中お見舞申上げます

蒲田工業協同組合 (五十音順)

- 理事長 千葉博
- 副理事長 石森憲蔵
- 常任理事 岡田清
- 常任理事 赤井弘志
- 常任理事 市川宗紘
- 常任理事 杉谷順弘
- 常任理事 西ヶ谷勝美
- 常任理事 尼寺春一
- 常任理事 川瀬純一
- 理事 工藤勝広
- 理事 富田耕平
- 理事 鳥海保男
- 理事 長坂基秀
- 理事 西野三郎
- 理事 野口広
- 理事 早崎亨一
- 理事 古川一安
- 理事 増田道造
- 専務理事 戸上皓司
- 会計主任 正田龍三
- 監事 海老名正教
- 監事 豊間厚

暑中御見舞申上げます

蒲田工業協同組合員有志

(五十音順)

機械器具製造業

- 株式会社 旭川製作所
- 尼寺空圧工業株式会社
- 岩佐工機株式会社
- 合資会社 大津鉄工所
- 株式会社 弘機商会
- 坂口精密工業株式会社
- シンドー工業株式会社
- 炭研精工株式会社
- ティ・ヴィ・バルブ株式会社
- 東 亜 株 式 会 社
- 株式会社東京精密器具製作所
- 有限会社 巴 精 工 所
- 株式会社 鳥海製作所
- 長坂精機株式会社
- 日本キーン無段変速機株式会社

- 有限会社 蓮沼機械製作所
- 有限会社 早崎製作所
- 深尾精機株式会社
- 藤田工業株式会社
- 株式会社 藤原製作所
- 合資会社 古川機械製作所
- 株式会社 文化精工
- 株式会社 妙 徳
- 株式会社山田精機製作所
- 電気機械器具製造業
- 出雲電機株式会社
- 株式会社 小林電機製作所
- 太産工業株式会社
- 株式会社 東 電 舎
- 株式会社 中山電機工芸社
- 永森電機株式会社

輸送用機械器具製造業

- 株式会社 日 産 電 機
- 荏原工業株式会社
- 株式会社 大谷造機所
- 株式会社 東京ドスピル製作所
- 西野機械工業株式会社
- 株式会社 日伸製作所
- 株式会社 ユタカ製作所
- 金属製品製造業
- 江崎工業株式会社
- 佐々木発条株式会社
- 第一シャーリング工業株式会社
- トヤマ機器工業株式会社
- 同和発条株式会社
- 株式会社 羽田パイプ製造所
- 有限会社 富士精機製作所
- プレス・鋅金業
- 株式会社 赤井製作所
- 株式会社 内田製作所
- 岡田鋅金株式会社

- 株式会社 清川製作所
- 株式会社 清水鉄工所
- 多田プレス工業株式会社
- 大和部品株式会社
- 株式会社 東亜製作所
- 日本中空鋼株式会社
- 株式会社 蛭田電機製作所
- 製 罐 業
- 株式会社 新井久四郎鉄工所
- 鍍 金 業
- エビナ電化工業株式会社
- 株式会社 三協アルマイト
- 鑄物製造業
- 有限会社 京浜鑄造所
- 杉谷金属工業株式会社
- そ の 他
- 有限会社 青木製作所
- 河原テント株式会社
- 株式会社 気球製作所
- 株式会社 日章機械
- 有限会社 古川塗装工業所